

JR宇都宮駅西口周辺 景観づくり通信

vol.2

発行
令和7年12月

● 第4回の勉強会を開催しました。

令和7年9月26日（金）に「第4回 JR宇都宮駅西口周辺の景観形成に関する勉強会」を開催しました。

今回の通信では、勉強会の内容をご紹介します。

第4回JR宇都宮駅西口周辺の景観形成に関する勉強会

「第4回勉強会」では、これまでに開催した勉強会でいただいた意見を取りまとめた「景観形成の方向性（案）」や、地区内の事業者の皆様にご協力いただきました「事業者アンケートの結果」について、ご説明させていただきました。

今後は、地域住民や商店街、事業者、関係行政団体で組織する「景観づくり推進協議会」において、JR宇都宮駅西口周辺の良好な景観の形成に向けた検討を進めてまいります。

日 時：令和7年9月26日（金）

18:00～19:30

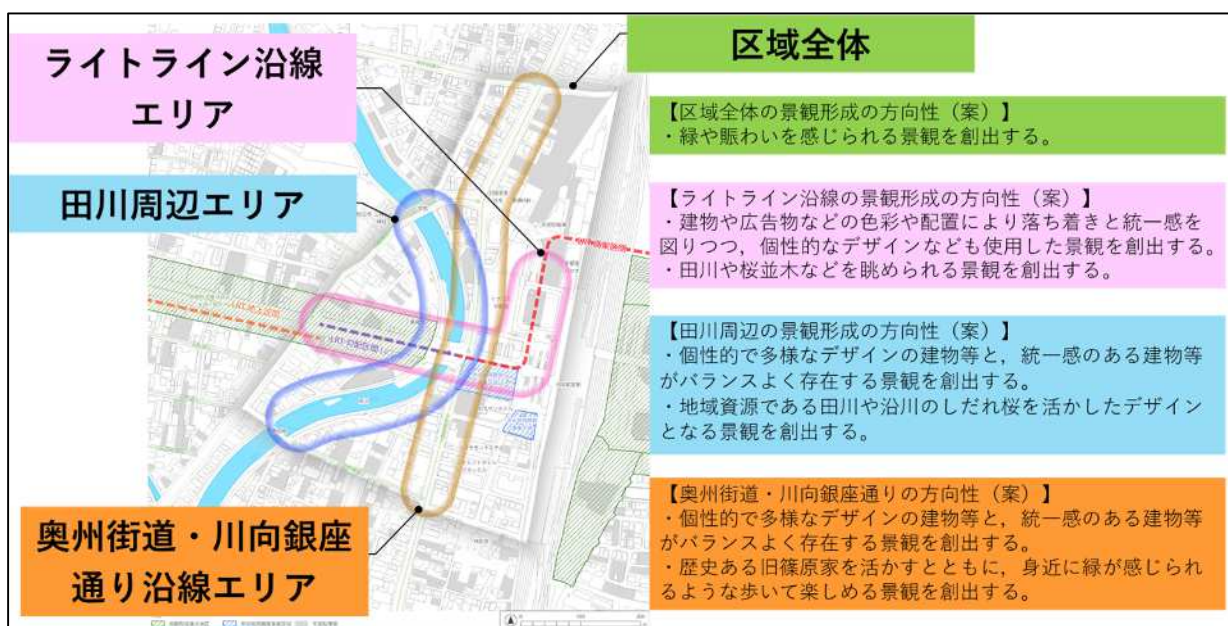
場 所：築瀬地域コミュニティセンター
2階 会議室

参加者：8名（自治会長など）

1. ★ 第4回勉強会 次第 ★

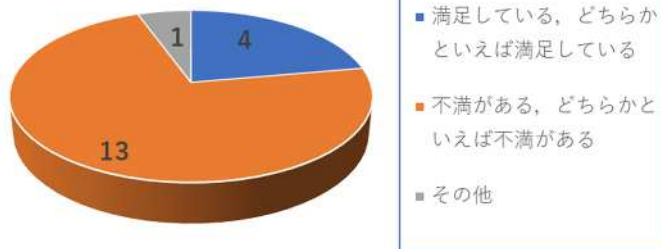
- これまでの勉強会のまとめについて
- 事業者アンケートの結果について
- 景観づくり推進協議会について

【景観形成の方向性(案)】



【事業者アンケートの主な意見】

J R 宇都宮駅西口周辺の景観について、
どういった印象をお持ちですか。



【より良いものとするために必要こと】

- ・ 夜間照明によって賑わいを感じられる
- ・ 建物の色彩やデザインによって賑わいや風格を感じられる
- ・ 建物の色彩や高さが周辺の街並みと調和している
- ・ 建物の壁面の位置に連続性を感じられる
- ・ 道路に面して空地や滞在できる空間がある
- ・ 敷地内の緑によって潤いを感じられる
- ・ 広告や看板の色や大きさが周辺と調和している
- ・ 建物の外壁などに大谷石が使用されている

【勉強会でいただいた主なご意見】

- ・ 日光駅から東照宮までの通りは建物の色もトイレも含め良くなった。人が歩くためにはトイレの整備も必要と考える。
 - ⇒ 西口の整備に合わせ、ハード面についても検討していく。
 - ⇒ 色彩関係については、エリアごとの特色も踏まえ事務局から案を出し、ご意見をいただきながら決めていきたい。
- ・ 綺麗なライトラインが走っても沿道の建物の見た目が良くない。私有地だから仕方ない部分もあるが、どうにかしていきたい。
 - ⇒ 今後の検討において、建物や屋外広告物などのルールを作成していきたい。
- ・ 統一されたものが良いか、個性ある方が良いか分かれると思う。
 - ⇒ 全体のコンセプトやエリアに合わせたコンセプトなどについても検討を行っていきたい。
- ・ 駅前広場の整備やライトラインの西側延伸で、人の流れがどうなるかを把握し進めていくべき。
 - ⇒ 人の動線を考えるのは非常に大切なことである。今後どういうところを眺めさせたいか、そこに対して景観をどうしていくかも含め、皆さんと一緒に考えていきたい。
- ・ 19年の台風で垂直避難しかないことが分かった。駅前広場の整備では、避難所としての機能も考えてほしい。
 - ⇒ 栃木県においても田川の治水対策も実施している。まちづくりの検討においても安全安心の視点も持ちながら検討を行っていく。

問い合わせ先

宇都宮市 都市整備部 景観みどり課 都市景観グループ
担当: 梁木(やなき), 村松
電話 028-632-2568 FAX 028-632-5421
Mail u55002100@city.utsunomiya.tochigi.jp